



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより 第2号
校長 芹澤 敏光
令和4年5月27日

令和4年度学校経営方針

校長 芹澤 敏光

教育目標

— よく学び、よく考え、元気に実践する —

- 基礎学力をしっかりと身に付ける
- 正しい判断力を養う
- 積極的に体力づくりをする
- なにごとにも進んで実践する

生徒にとって

- 目標をもって行動できる
- 自分が生かせる、伸びる
- 授業がよく分かる、楽しい
- 認め、支えてくれる仲間がいる

- ☆ 元気にあいさつができる生徒
- ☆ 何事にもひたむきに努力できる生徒
- ☆ 思いやりをもって協調しようとする生徒
- ☆ 仲間と共に成長しようとする生徒

受容的、共感的な雰囲気の中で
安心して生活することができる

目指す学校像

子供が毎日通いたい学校
保護者に信頼される学校
地域から愛される学校

目指す生徒像

- 十中生であることを誇りに思い、努力や誠実さ、正義を大切にできる生徒
- 「明るいあいさつ きれいな学校 時間を守る」を実践する生徒
- 喜びや悲しみ・苦しみを友人と分かち合い、仲間と共に成長しようとする生徒
- 自分で考え、判断し、行動する生徒

教職員にとって

- 力を存分に発揮できる
- 教育の価値と成果を実感できる
- 新しい取組に挑戦できる
- 誇りをもって組織的に動く

- ☆ 人間性が豊かで実践力のある教職員
- ☆ 使命感、情熱にあふれる教職員
- ☆ 受容と信頼に満ちた教職員
- ☆ 自分に厳しく他に優しい教職員

3年間の「学び」と「育ち」に
責任をもって全力で取り組む

保護者にとって

- 生徒を安心して任せられる
- 生徒の多様な力を伸ばしてくれる
- 親身になって相談に乗ってくれる

- ☆ 学力の向上
- ☆ 利他の心を柱とした人格の向上
- ☆ 保護者・地域との連携
- ☆ 教職員が意欲をもって職務に精励できる環境

地域にとって

- 地域の担い手である生徒をよく育ててくれる
- 地域によく耳を傾け協力してくれる
- 多様な取組で地域を活性化してくれる

令和4年度 指導の重点

- 授業について常に工夫と改善を行い、生徒同士の関わりを大切にし、主体的な学びを進める。生徒が「分かった」と思える授業、「力が付いた」と実感できる授業を推進する。
- 全教育活動を通じて学校や社会のルールを順守する指導を徹底するとともに、人権教育、心の教育及びいのちの教育を推進し、望ましい規範意識のもと、自他を尊重し、思いやりと豊かな人間性、社会性に満ちた豊かな心を育成する
- 運動に親しみ、体を動かす習慣を身に付け、主体的に体力向上に取り組むとともに、望ましい生活習慣の確立を目指した心身の健康づくりと食育を推進し、健やかな体を育成する。
- 学校と地域が、「共に子供たちを育て、ともに地域をつくる」という理念に立ち、学校や地域の特色や実情を踏まえ、連携・協働して子供たちの成長を支える活動を推進する。
- 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、健康と安全を意識させる指導を工夫し、効果的な学校行事等の教育活動を実践する。
- 多様な子供たち一人一人に応じた「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の充実を図る。

【府中市教育委員会基本理念】

ふるさとに誇りを持ち、知性や感性を磨き、豊かな人間性を備え、心身ともに健康に成長していくために

(1) 確かな学力の定着

- ① きめ細やかな個に応じた指導の充実と能力の伸長
 - ア 数学、英語の全授業における習熟度別少人数指導の実施
 - イ 理科の授業におけるチームティーチングの実施
 - ウ 支援が必要な生徒に対する学習支援員の活用
 - エ 「一人一回研究授業」の校内研究による授業力の向上
 - オ eライブラリー学習コンテンツの積極的な活用
- ② 基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上を目指した取り組みの充実
 - ア 授業改善推進プランの作成、工夫、改善
 - イ 漢字・英語検定等の積極的な取得、各種コンテストの実施
 - ウ 言語活動(読む、書く、話し合う)の質の向上
 - エ 学校支援員を活用した定期的な放課後学習教室の実施
- ③ 朝読書や学校図書館支援員を活用した取組の更なる推進による読書活動の充実、自ら学び、考え、表現する力の育成
- ④ 一人1台端末や高速大容量通信ネットワークを積極的に活用し、課題や目的に応じた主体的な学習活動の充実
- ⑤ これまでの教育実践とICT機器活用の融合を図ることによる、生徒の資質・能力の効果的な育成
- ⑥ 肯定的な指導、評価の実施
- ⑦ 授業改善推進プランの更新、学力調査の分析と統一した授業評価の実施による指導方法の工夫・改善

(2) 健全育成の推進

- ① 学校行事を中核とした多様な体験活動を通じた互いに認め、支え合い、高め合う「かけがいのない仲間づくり」の推進
- ② 道徳授業や道徳授業地区公開講座の確実な実施とそれと関連付けた講話や働き掛けによる道徳的心情の涵養
- ③ SCやSSW等を活用した保護者への働きかけや関係機関との連携を強化することによる、各フェースに応じた不登校対応の確実な推進
- ④ いじめの根絶、しない、させない、見逃さない、許さないの徹底
- ⑤ ふれあい月間等により生徒個人及び学級集団への理解を深め、自己肯定感、自己有用感、共存共栄の意識を高める学級指導の展開
- ⑥ 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する「ミライへつなぐ府中 2020 レガシー」の推進
- ⑦ ふるさと学習を、歴史・文化からのアプローチを中心に進めることによる、ふるさと府中を愛する心の育成
- ⑧ オリンピック・パラリンピック教育のレガシーのテーマをボランティアマインドとする、PTAと連携した生徒会活動や小学校との定期的な交流活動の推進
- ⑨ 府中版コミュニティースクールとしての取組の充実
- ⑩ 地域貢献プロジェクト委員会の活動等による、地域社会への貢献・地域社会と連携することの大切さの意識の涵養
- ⑪ 「自助・共助・公助」の精神を育む地域防災スクールの実施
- ⑫ 将来に向かう力を育むキャリア教育の充実と職場体験学習の実施

(3) 健康の増進と体力の向上

- ① 体力テストの結果を生かし、体力上に向けた取組の強化
- ② ガイドラインの順守、外部指導員の活用による人間教育を行う場としての部活動の更なる充実
- ③ 感染症対策を講じながら健康と安全を意識させる指導を工夫することによる、効果的な学校行事の実践
- ④ 避難訓練、安全指導、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等の実施による安全意識向上と危機回避能力の育成

(4) 小・中の連携・接続

- ① 小中9年間を一連の教育ととらえ、「学び」と「育ち」に関する成果と課題を共有し、目指す子供像の明確化
- ② 小中連携の日等により、子供たちの現状及び教育課題を的確にとらえた効果的な小中連携への工夫改善
- ③ 小中合同の挨拶運動や小学校の運動会への中学生のボランティア参加など、学校行事における積極的な交流の推進

(5) 特別支援教育

- ① 心理等の専門家等を活用した個に応じた指導の充実
- ② 学校生活支援シート、スクールカウンセラー、家庭と子供の支援員等を活用した、個のニーズをとらえたきめ細やかな指導の充実
- ③ 特別支援教室の効果的な運営、校内委員会の充実

(6) サービスの厳正

- ① 教育公務員としての自覚の向上、教職員相互の声掛けの習慣化による服務規律の徹底
- ② 学習指導要領に基づく、意図的・計画的・継続的な教育の推進、予算の適正な執行、管理